

# 学校経営

## ○ 学校経営の理念

学校の主人公は生徒である。その学校が担う役割は、生徒の『学力保障』と『社会性の醸成』と考える。それにより、学校の諸活動は、常にその達成を目指し、生徒の人格形成に資するものでなければならない。従って、学校生活において生徒へ、自己肯定感をもたせ、社会の中で自己実現できるよう指導・支援する。そのために、学習環境を整え、生徒一人ひとりが目標を持ち、心豊かで、心身ともに健康な生徒の育成に向けた学校づくりを目指す。

## I 教育目標

### 教育目標

- 目標を持ち自ら学ぶ生徒 【知育】
- 心豊かで思いやりのある生徒 【徳育】
- 心身ともに健康で忍耐力のある生徒 【体育】

### 重点事項

- 黄金の教育「未来の『幸せ』へつながる教育」  
～ 居心地の良い学校・学年・学級づくりを通して ～

子ども一人ひとりに自己肯定感をもたせる

めざす学校像（じりつした活動・実践のできる学校）

- 自己の存在感・有用感を実感し生活できる学校
- 一人ひとりが将来に向けて個性や能力を伸ばせる学校
- 保護者や地域と連携・協働し信頼される学校



めざす生徒像（master 5 thingsの習得）

- 自らの課題を見つけ、主体的に正しく判断し、行動を自己決定できる生徒
- 周りの人たちを尊重し、仲間や様々な人と対話や協働ができる生徒
- 心身の健康を自覚し、公衆道徳を身につけ健康安全な生活を送ることができる生徒

めざす教師像（アップデートできる教師）

- 一人ひとりを丁寧に見取り、支えながら生徒の成長に向け取り組む教師
- 目的と手段を的確に判断し、軸となる考えをもち自立した実践のできる教師
- 教育公務員としての自覚を持ち、社会人としての品位と人間味あふれた教師

**目標具現化の指標**

**自らの課題を見つけ、主体的に正しく判断し行動を自己決定できる生徒**

- 自ら課題を見つけ、自分の将来に向けて学習することができる。
- ものごとを主体的に正しく判断し、自己決定を繰り返すことができる。
- ものごとを筋道を立てて考え、粘り強く解決することができる。

**周りの人たちを尊重し、仲間や様々な人と対話や協働ができる生徒**

- 周りの人の意見を尊重し、対話しながら認め合うことができる。
- 他人を思いやり、自分も大切にすることができる。
- 周りへの感謝の気持ちを表すことができる。

**心身の健康を自覚し、公衆道徳を身につけ健康安全な生活を送ることができる生徒**

- 将来に向けて、公衆道徳を身につけた生活ができる。
- 心身の状態を自覚し、健康安全な生活ができる。
- 仲間と助け合いながら、様々な活動を最後までやり抜くことができる。

## 2 学校経営方針

- (1) 生徒の未来の「幸せ」に向け、柔軟性をもちすべての子どもの可能性を引き出す教育に努める。
- (2) 居心地が良く、自己存在感・有用感が実感できる学校・学年・学級づくりに努める。
- (3) 生徒一人ひとりが将来に向けて個性や能力が発揮できる教育活動に努める。
- (4) 保護者、地域、家庭との連携・協働することで、信頼される開かれた学校づくりに努める。
- (5) 生徒の「学力保障」に向け、調和のとれた教育課程を編成し、個別最適な学びの実現に努める。
- (6) 生徒の「社会性の醸成」に向け、じりつ(自立・自律)し自己決定できる生徒の育成に努める。
- (7) 教師は、社会の情勢を的確に捉えた学習観や指導観を身につけ、常にアップデートに努める。
- (8) 教師は、自己研鑽に励み、軸となる考えをもった教育活動の実践に努める。
- (9) 教育公務員としての自覚をもち、社会人としての品位と人間味をもった教育活動に努める。
- (10) 職員の同僚性を高めることを心がけ、自己調整しながら働きやすい職場づくりに努める。

○ **学力の保障**

○ **社会性の醸成**

**学習面**

**南風原中学校 master 5 things**

**生活面**

- 1 興味を持って学ぶ
- 2 積極的な挑戦
- 3 自分に合う学習習慣
- 4 他人との学習共有
- 5 健康な生活習慣

- 1 コミュニケーション能力
- 2 他者への配慮と思いやり
- 3 誠実さと正直さ
- 4 社会規範の理解と遵守
- 5 協力とチームワーク

### 3 学校経営方針に係る視点

#### (1) 学習指導の充実

- ① 子ども一人ひとりが自分の人生を主体的に切り開いていく力を身につけるために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「自立した学習者」の育成を目指す。
- ② 学ぶ側の思考で授業を構想する。授業の中で生徒一人ひとりが学びに向かうための場づくりを意識し、生徒個々の多様性に対応する。（時間設定の有効性の検討・個別の課題提供等）
- ③ 対話のある授業を目指し、生徒が発言する場を多くもち生徒の発言に対し「問い返し」を随時行う。また、「問い」と「答え」の間をできるだけ長くとり、生徒が自分で考える時間を設定する。
- ④ 生徒が、授業において『分かった』『楽しい』と思える授業実践を行う。また、どの教科の授業でも、原則グループやペア活動を取り入れ、話し合う場面を設定する。
- ⑤ 学習評価は、生徒自身が勝ち取るものであり、生徒に与えるものではないという意識を持って学習指導にあたる。

#### (2) 生徒指導の充実

- ① 生徒指導の実践上の視点である、「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」を意識した実践に努め、生徒の発達を支える。
- ② 生徒へ「社会性を醸成する」ことを目指し、本校の生活目標「時を守り、場を清め、礼を正す」を軸とした共通実践に努める。
- ③ 自他を敬愛し、他者と協力しながら自己実現を図る自己指導能力の育成に努める。
- ④ 教育的愛情を持ち、生徒と日常的に積極的な関わりをもちながら、個々の生徒の状態に合った柔軟な支援に努める。
- ⑤ 家庭・地域・関係機関との連携に努める。  
・相互信頼と連携・協力      ・情報連携から行動連携へ      ・ケース会議の開催

#### (3) 教育相談の充実

- ① カウンセリング・マインドをもって指導に当たり、個人のもつ悩み等の解決を援助するとともに、すべての生徒の豊かな自己実現を図るための効果的な指導・援助を重視する。
- ② 日常の教育相談の充実に努めるとともに、定期教育相談の効果的な活用を図る。
- ③ 教育相談活動の充実及び教育相談担当教諭との連携に努める。
- ④ 養護教諭や適応指導教室及び自立支援教室担当支援員と日常的に情報交換を行い相互に連携し合う。
- ⑤ 社会や家庭の状況、発達の特性等、様々な事案に対応するために、SCや心の相談員、SSW等の専門スタッフや関係機関との連携を図り、教育相談委員会による組織的対応の構築を図る。

#### (4) 学年・学級経営の充実

- ① 居心地がよく自己存在感・有用感を生徒が実感できる学年・学級づくりに努める。
- ② 学校教育目標、学年教育目標の具現化を目指し、各学年主任・担任は、軸をもった考えを基にした主体的な学年及び学級経営に努める。（経営案は随時提示できるように準備する）
- ③ 常に、明るく和やかな雰囲気醸し出すような校内環境の整備に努める。

- ④ 係活動や当番活動などの諸活動を通して学年・学級への所属感が得られるように、生徒相互及び教師と生徒の好ましい人間関係づくりに努める。
  - ⑤ 学年・学級での生徒の様子や取り組み等を積極的に保護者へ伝え、協働できるように努める。
- (5) 道徳教育の充実
- ① 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、全職員による研修やローテーション授業等、計画的・発展的な指導を全校体制で行う。
  - ② 学校の教育活動全体を通じて、日常生活における基本的な生活習慣を身に付けさせ、節度と調和のある生活ができるよう指導を徹底する。
  - ③ 公衆道徳を身につけ、公共心や公德心を高め、公共物を愛護し、自他の物を区別して責任ある行動がとれるような指導の徹底を図る。
- (6) 特別活動の充実
- ① 生徒の主体的な学級活動や学校行事等を推進・支援し、自己肯定感や達成感、所属感を高め充実した学校生活に繋げる。
  - ② 学級活動及び生徒会活動の活性化を図り、集団の一員としてより良い生活を築こうとする主体的・自主的な態度を育てる。
  - ③ 集団活動の意義を理解し、多様な他者と協働する活動を通して自己の生き方についての考えを深め、Time（時間）、Place（場所）、Occasion（場面）に合った行動を身に付けさせる。
- (7) キャリア教育・進路指導の充実
- ① 自らの将来に向けた目標をもたせ、その達成のために個に応じた支援をする。また、生徒自らが進路等を自己決定できるような、教育活動全体を通じたキャリア教育や進路指導を行う。
  - ② 社会的自己実現のために、教育活動全体において、生徒一人ひとりが自ら考え、選択し決定する体験を多く設定する。
  - ③ 生徒が、自己についての理解を深め、自己の可能性を信じ、「なりたい自分」を求めて模索し、将来への夢や希望を抱くことができるよう支援する。また、「キャリア・パスポート」等を計画的に活用し、キャリア教育の継続性を図る。